令和7年度 小金井市立本町小学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

課題の設定、学習環境の整備などを工夫し、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。

2 児童に身に付けさせたい力

国語	〇 文章を読み、自分の考えや意見をもつ力
算数	○ 論理的に考え、それを式や言葉で表現する力

3 各教科等における授業改善の視点

	5 日教科寺にのける技术以合の抗点					
田留	低学年	○言語感覚を養うために、音読や言葉遊び、本を活用した言語活動などを取り入れる。				
		○自分で選択して課題に取り組む力を育むために、様々な学習方法を体験する場を設ける。				
	中学年	○魅力的な単元ゴールや必然性のある言語活動を設定することで、児童一人一人が目的をもって文章を読み、中心となる語や文を見付けることができるようにする。				
		○自己内対話だけでなく、必要感のある他者との対話を複数回設けることで、曖昧であった自分の考えをはっきりさせたり、広げたりできるようにする。				
	高学年	○自分の学びを調整しながら自分の思いや考えをより良く伝え合おうとする力を高めるために、課題を精選し児 童自らが目的意識をもって学習内容や学び方を選んで学習計画を立てたり、適切に自己評価や相互評価をする 機会を設ける。				
		○漢字や語彙の力を高めるために、朝学習や家庭学習で主体的に取り組める機会を設定する。ディベートや意見 文の学習を通して、自分の考えを理由や根拠を述べてまとめられるようにする。読書週間のおすすめカードなど を活用して、目的を意識して中心となる言葉や文章を見付けられるようにする。				
社会	中学年	○地域の施設を見学したり、地域の方と関わったりしながら、自分の学習課題を捉えられるようにする。				
		○表現する力を高めるために、調べたこと考えたことをまとめる方法を知り、その中から選べるよう な活動を取り入れる。				
	高学年	○主体的に学習に取り組めるようにするため、自ら問題意識をもてるような社会的事象との出会いを工夫する。また、調べる対象や調べる方法を児童が選択できるような学習活動を行う。				
		○思考力や表現力を高めるためにICT機器を活用して写真資料等、複数の資料から必要な情報を適切に選択して比較、分類、関連付け、自分で考えたことをまとめ、表現する活動を行う。				
算 数	低学年	○場面や関係をイメージする力を養うために、具体物を操作したり体験したりする活動を取り入れる。				
		○抽象的に考える力を育てるために、図を用いて自分の考えを説明したり、友達の図を見てその表現の意図を考えたりする活動を行う。				
	中学年	○基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために、ICTも活用した複線型の学習活動を取り入れる。				
		○数学的見方・考え方が豊かになるよう、対話を通して、表現の方法を学び、考えをよりよくする意識を育てるために児童のノートの提示にICT機器を用いるなど、交流を積極的に図る。				
	高学年	○基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために、ICTも活用した複線型の学習活動を取り入れる。				
		○数学的見方・考え方が豊かになるよう、ICT機器も用いながら交流を積極的に図り、他の考えや表現方法を知り、自分の考えをよりよいものにする目的意識をもって積極的に学習に向かう力を付ける。				

理科	中学年	○自然事象との出会い方を工夫し、児童の知的好奇心を喚起することで、児童から出た問いから課題設定ができるようにする。
		○自ら見い出した問いに対して、自分で発想した仮説、実験方法によって検証する活動を設けることで、児童が自分自身の学習活動との認識をもち、主体的な問題解決活動になるようにする。
	高学年	○主体的に学ぶ姿勢を高めるために問題設定や発問を工夫し、個別最適化された授業展開を設定する。問題解決に向けた思考の流れを可視化し、共有することで学習を深められるように工夫する。
		○交流しながら、自分の考えを深める力を付けるために、予想や考察についてはICT機器を用いて、 互いの意見を即時に共有する。
生活	低学年	○主体的に自然の変化や身近な人々と関われるように、多くの体験活動を取り入れる。
		○活動から得た個々の気付きを共有することで、一体感や成就感をもたせ、主体的に次の体験への意欲をもてるようにする。
	低学年	○リズム遊びや歌、鍵盤ハーモニカの演奏などに楽しんで取り組めるように、友達と関わりながら活動する場面を設定する。
		〇自分なりの表現ができる力を高めるために、歌や曲に対する一人一人の感じ方を大事にする学習 課程を工夫する。
 本	中学年	○音楽のよさを感じ取り、思いをもって豊かに表現する児童の育成のため、多様な人の歌声や演奏に触れる機会を設定する。見方・考え方を働かせ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的な合唱・器楽・鑑賞・音楽つくりに取り組めるようにする。
音 楽		○児童自身が設定した課題に向けて自己調整し、トライ&エラーで「強い子」を目指すために、「学び方を選択できる複線型」「一人一人の学びの進度を把握するための効果的な手だて」を行う。
	高学年	○音楽のよさを感じ取り、思いをもって豊かに表現する児童の育成のため、自分や多様な人の歌声や演奏に触れる機会を設定する。見方・考え方を働かせ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的な合唱・器楽・鑑賞・音楽つくりに取り組めるようにする。
		〇児童自身が設定した課題に向けて自己調整し、トライ&エラーで「強い子」を目指すために、「学び方を選択できる複線型」「一人一人の学びの進度を把握するための効果的な手だて」を行う。 音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
図画工作	低学年	〇主体的に楽しく活動させるために、ICT機器を使い、活動の方法を視覚的に理解できるようにする。
		○基本的な技能を身に付けさせるために、描く、作る、体全体を使う、互いの作品を鑑賞する等バランスよく題材を設定する。
	中学年	○主体的に進んで活動させるために、作品の大きさを工夫して試したり作り方を容易にできるようにし、いろいろな材料や技法を自分で取捨選択できるような題材を設定する。
		○既習を生かしてさらに思考や技能を深めたり繰り返し活用できたりするように、縦のつながりや題 材のバランスを意識して題材を設定する。
	高学年	〇主体的に見通しをもって活動させるために、始めに題材の設定時間を提示し、自己調整しながら取り組める題材を設定する。
		〇既習を生かしてさらに思考や技能を深めたり繰り返し活用できたりするように、縦のつながりや題 材のバランスを意識して題材を設定する。
家庭	高学年	〇製作や実習する楽しさを感じながら必要な技能を身に付けるために、実習内容や製作デザインを児童が決めて、工夫できるような学習活動を行う。
		○日常生活の中から課題を見い出し、実践し、ICT機器などにまとめて振り返り、普段の生活に役立てていこうとする力を付けていけるようにする。

体 育	低学年	○基本的な動きを身に付けさせるために、いろいろな運動遊びを取り入れた場を設定し、繰り返し取り組む ようにする。
		○運動をより楽しもうとする意欲をもてるように、遊び方など工夫したことや考えたことを友達と共有する場を 設ける。
	中学年	○基本的な技能や動きを身に付けるために運動量を確保したゲームを取り入れるなどの工夫を行い、繰り返し取り組むことができるようにする。
		OICT機器を活用し、友達と「できた!」の喜びを分かち合い、学習に意欲的に取り組めるようにする。
	高学年	〇児童が主体的に活動に取り組む力を育てるために、運動内容を検討し、学習計画を立てる。
		○目的意識をもって学習に取り組めるように、めあての設定や振り返りの機会を設定する。体育の見方・考え方を意識して運動させるために、掲示物やICT機器を効果的に活用して、友達と運動する楽しみや自らの成長を感じられる喜びを感じられるようにする。
外国語	高学年	○自分のことや身近で簡単なことを、例文を参考に書くことができるよう、適切な例文の提示を行う。
		○多様なものの見方・考え方があることに気付くことができるように、ICT機器を活用し、写真や動画など具体的な資料を提示する。
道徳	低学年	○自分の考えをもつために日常の体験を想起させながら学習に取り組ませ、じっくりと考えることができるようにする。
		○教材理解を深めることができるようにするために、教材を提示する際に、ICT機器やBGMを活用する。
	中学年	〇児童に内容項目のよさ、難しさ、多様さの中から何を考えさせたいのか明確にし、一貫した指導観をもって授業 を展開するようにする。
		○自分なりの考えを深めることができるように、教材提示の際にICT機器を活用したり、教材の特質を押さえた発問をしたりする。
	高学年	○道徳的価値を多面的・多角的に深めていくために、交流の仕方、自分の考えのまとめ方を選択し 考えを広げられるような授業展開をする。
		○教材の世界観に児童が没頭し自身について考えを深められるように、教材提示に積極的にICT機器を活用する環境作りを行う。
総合	中学年	○自分の考えを整理し、表現する力を育てるために、「情報の収集、整理・分析、まとめ・表現」の方法を学習活動中に意識させる。 ○地域のつながりに気付く力を育てるために、地域の教育力を活用した体験活動、調べ活動を行う。
		○自分の考えと友達の考えの違いや良さを比較しながら、学びを深められるように、ICT機器を活用して効果的に交流や発表ができるようにする。
	高学年	○地域や専門家から主体的に学べる力を身に付けるために、ゲストティーチャーによる授業や、地域 の方との交流を図った体験的に学ぶ活動を取り入れる。
		○学び方表現方法を選択できるように、ICT機器を活用する能力を高める。